

2025年度 AI・データサイエンス
基礎プログラム
自己点検・評価報告書

2026年2月20日

「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会

授業の概要

到達目標

現代社会におけるAI（人工知能）やデータサイエンスの役割、および、その基本的な仕組みや利活用の方法を学ぶとともに、実際の活用事例にも触れます。受講者は、現代社会を生きるためのリテラシー（いわゆる「読み書きそろばん」の能力、すなわち、誰もが持つべき当然の素養）として、AI技術やデータの利活用に関する基礎的な知識や留意事項を学び、それらを今後の学業や実生活に生かせるようになります。積極的に参加し、最先端のさまざまな紹介事例から現代社会の大きな変化を感じ取ってください。

授業計画概要

1	ガイダンス/データサイエンスとは～背景とキーワード
2	社会で起きている変化～日本の現状・Society5.0に向けて
3	社会で活用されているデータ～具体例と分類・オープンデータとは
4	データ・AIの活用領域～AIの定義・歴史的背景と現状
5	データ・AI利活用のための技術～データ認識技術・AI技術・課題と展望
6	データ活用とは～データの定義・活用のモデルとアプローチ・活用の領域
7	データ・AI利活用の現場～実社会における利活用の事例と今後の課題/データ・AI利活用の最新動向～新しいビジネス・関連する新技術
8	データを読む（1）～データの種類・代表値・ばらつき・チェックの方法/演習問題・実データを用いた実践問題
9	データを読む（2）～相関と因果・母集団と抽出・統計情報の正しい理解/演習問題・実データを用いた実践問題
10	データを説明する～グラフの活用・データの比較/演習問題・実データを用いた実践問題
11	データを扱う～演習問題・実データを用いた実践問題
12	データ・AIを扱う上での留意事項（1）～エルシー（倫理的・法的・社会的な課題）・行ってはいけない不正行為（ねつ造・改ざん・盗用）・個人情報の保護と現状
13	データ・AIを扱う上での留意事項（2）～データ・AI利活用において生じる様々なバイアス（ゆがみ・偏り）・AIの正しい活用に向けて
14	データを守る上での留意事項まとめ～情報セキュリティについて・データサイエンスの重要性

2

AI・データサイエンス基礎 履修実績

年度	期	科目名	履修者数(名)	修得者数(名) [Tr(認定)除く]	修得率(%)
2022	前期	AI・データサイエンス基礎A	578	530	91.7
2022	後期	AI・データサイエンス基礎B	46 ^{※1}	36	78.3
2023	前期	AI・データサイエンス基礎A	613	561	91.5
2023	後期	AI・データサイエンス基礎B	49 ^{※2}	40	81.6
2024	前期	AI・データサイエンス基礎A	545	468	85.9
2024	後期	AI・データサイエンス基礎B	71 ^{※3}	50	70.4
2025	前期	AI・データサイエンス基礎A	617	525	85.1
2025	後期	AI・データサイエンス基礎B	81 ^{※4}	55	67.9

※1 前期不合格者48名のうち1名休学、1名退学のため後期履修者数は46名となっている

※2 前期不合格者52名のうち2名休学、1名退学のため後期履修者数は49名となっている

※3 前期不合格者77名のうち4名休学、2名退学のため後期履修者数は71名となっている

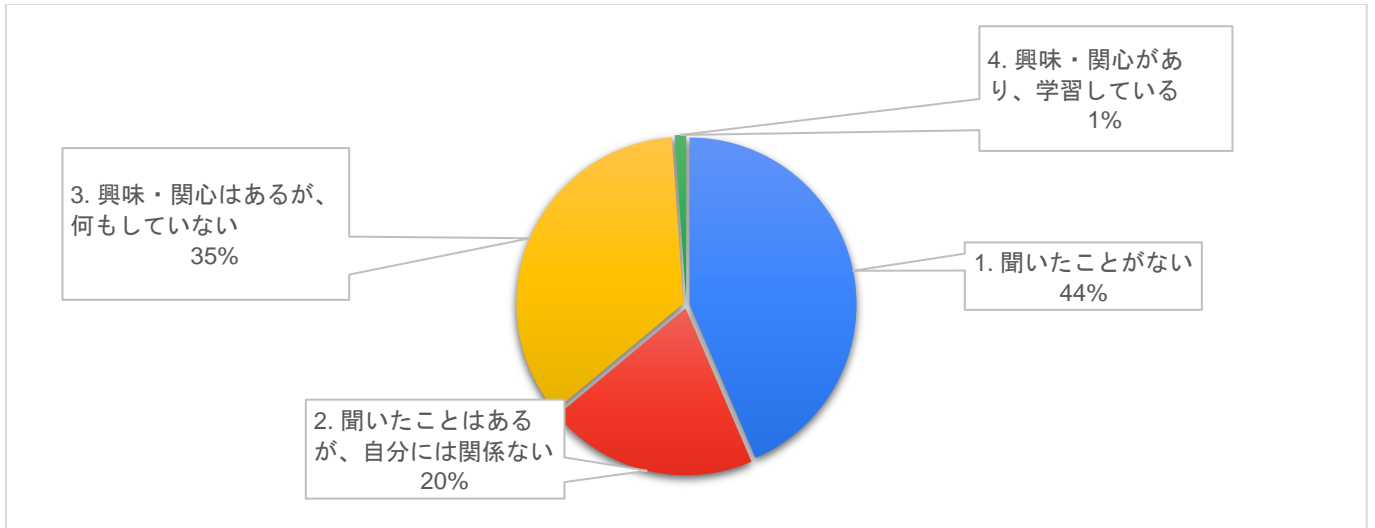
※4 前期不合格者92名のうち5名休学、1名退学、後期科目履修呼びかけに応じ登録していない学生が5名、そのため後期履修者は81名となっている

3

【A I ・ データサイエンス基礎事前アンケート 2025】

アンケート集計結果（回収 549 人）

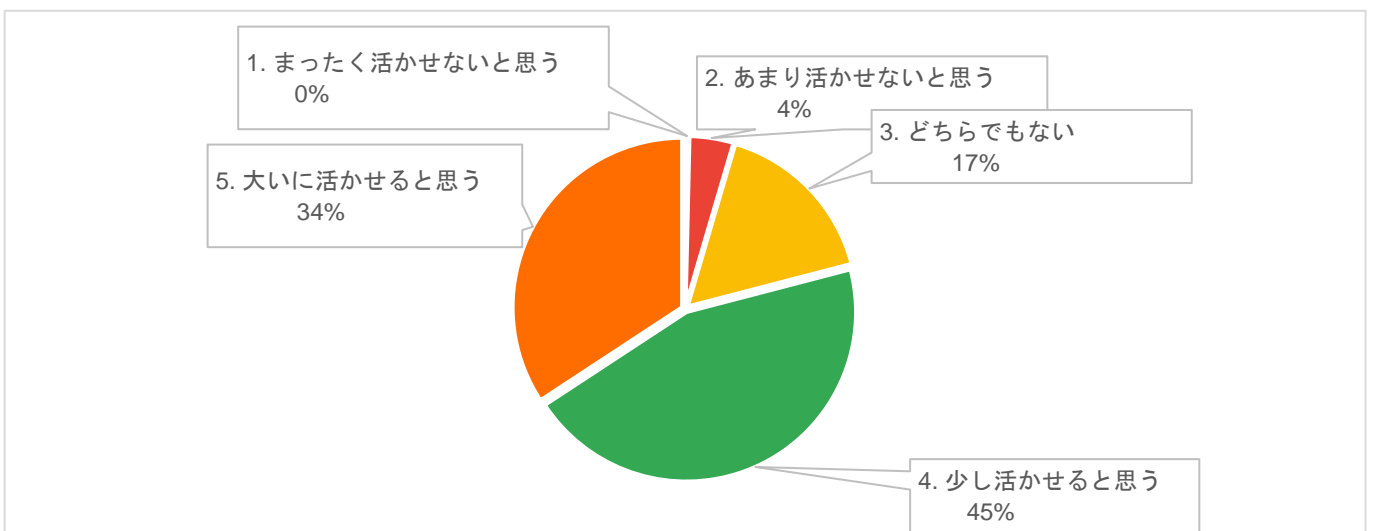
1) データサイエンスという学問領域に関してあなたの考えに近いものを選んでください。



(人)

1. 聞いたことがない	239
2. 聞いたことはあるが、自分には関係ない	112
3. 興味・関心はあるが、何もしていない	192
4. 興味・関心があり、学習している	6

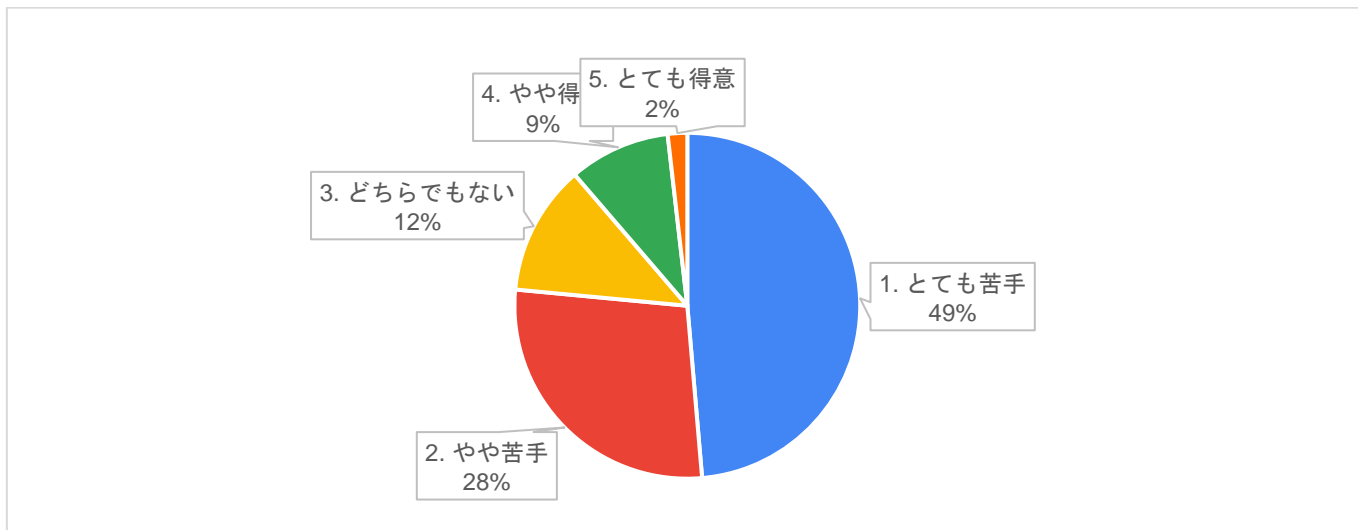
2) 本講義で得られるデータサイエンスの知識が、あなたの今後に活かせるかどうかについて、あなたの考えを選んでください。



(人)

1. まったく活かせないと思う	2
2. あまり活かせないと思う	23
3. どちらでもない	90
4. 少し活かせると思う	246
5. 大いに活かせると思う	188

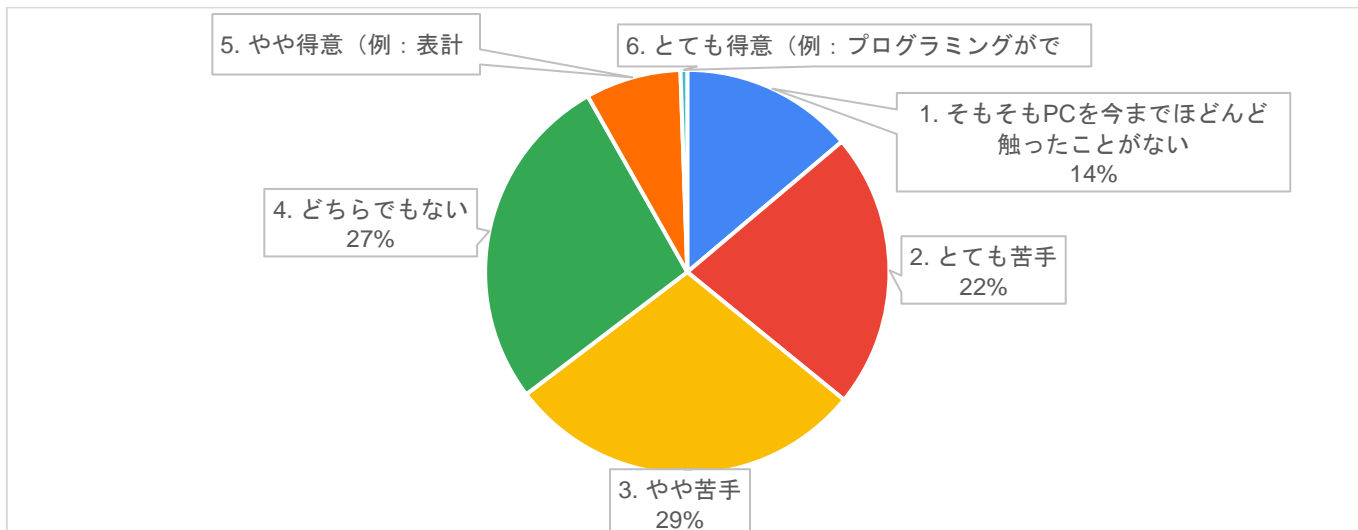
3) あなたの数学に対する意識を選んでください。



(人)

1. とても苦手	267
2. やや苦手	153
3. どちらでもない	67
4. やや得意	52
5. とても得意	10

4) あなたの PC スキルについて、選んでください。



(人)

1. そもそも PC を今までほとんど触ったことがない	76
2. とても苦手	121
3. やや苦手	158
4. どちらでもない	149
5. やや得意 (例: 表計算ができる)	42
6. とても得意 (例: プログラミングができる)	3

5)本講義に期待している点について、ご記入ください。(自由記述)

* 代表的な回答を抜粋

★PC・数学

- ・ PC スキルの向上
- ・ PC の扱い方について少しでも詳しくなれたらいいなと思います。
- ・ PC の活用方法について知ることができると期待しています。
- ・ 将来働くのにパソコンを使いこなせるようになりたい。
- ・ 将来役立つ PC スキルや今後どのようなリテラシーが必要なのかを学びたい。
- ・ 大学生活や社会にでも使える基本的な PC スキルを学べることを期待します。
- ・ 1 人で活用できるほどの操作技術がないので、この授業を通して将来社会にでたときに問題なく PC を利用できるようになりたい
- ・ PC 技術の向上とデータに関する知識を得ること。
- ・ PC を高校で使っていなかったので PC スキルを学びたいです。
- ・ 数学や PC スキルの知識をしっかりと身につけて、他の分野にも生かされるよう頑張りたいです。
- ・ MOS の資格を取得しようと考えているので、PC スキルなどを学ぶことが出来る本講義を受講できるのを楽しみにしています。
- ・ PC の詳しい使い方を理解し、授業や研究の際に有効活用する力を身につけたい。
- ・ 社会に出る上で必須となる PC スキルであったり知識
- ・ Excel など、将来必須となるようなシステムの使い方を学びたい。
- ・ 数学や PC スキルなど苦手なことが多い分、学ぶことがとても多そうなので期待しています。
- ・ 本講義では、高校の情報科目の PC スキルから向上して、将来仕事をする上で活用できるようなスキルを身につけていけたらと期待しております。
- ・ 少しでも数学要素に触れられるのが嬉しいです。
- ・ AI・データサイエンスを学ぶことによって将来、役立つ事があると思うので楽しみです。また、仕事としてパソコンを扱う仕事が多いのでこの授業でパソコンを扱う機会があるのでとてもよい機会だと思います。
- ・ 身近なことをデータで読み解く力を身につけたいです。自分の興味のある分野を、数学を通して客観的にみられるようになるのが楽しみです。
- ・ 数学や PC の操作に苦手意識があるため、克服できるようになればいいなと思っています。
- ・ 今まで苦手だった数学を少しでも得意になりたいです。

★AI・データサイエンス

- ・ AI やデータサイエンスの分野に今まで触れたことがなかったので、履修ガイダンスを通してどんなことを学べるのだろうという気持ちでいる。後半にいくに渡り Excel なども利用すると聞いたので、これを契機に PC に関しても様々なことができるようになりたいと期待している。
- ・ データサイエンスについて知れるのが楽しみです！
- ・ データサイエンスの実践ができることがとても楽しみです。社会人になる為に必要なスキルであると思うので最大限吸収したいです。
- ・ 今までニュースや新聞で見聞きしたことはあったが、学問としてその領域を専門的に扱った経験はないので、今回の授業を通じて自分がいかにデータサイエンスという観点を深められるか期待し、そして自らも挑戦するという姿勢をもって臨みたい。どうぞよろしく願いいたします。

- ・本講義分野に関し、興味がある一方で、苦手意識があり、まだ十分に学習できていない分野がある。技術革新により情報が絶えず、更新される現代社会において、データサイエンスのあり方、そしてその基盤となる知識が、どのように活用されているかを学びたいと考える。さらに、Excel などの演習に関しては既に高等学校の情報の授業で学んだものを大いに実践的に活用できるように理解を深めたい。
- ・データサイエンスは名前のみ聞いたことがあり、面白そうだなと思っていたので楽しみです！
- ・データサイエンスに関する知識を身に付け、将来就職する際などに役立てばいいと思う。
- ・近年データサイエンスの重要性をよく目にするので、本講義の受講によって、自信の将来性を広げていきたいと考えています。
- ・膨大な情報量がある今の社会にデータサイエンスの力は必要になってくると思うので、情報処理が苦手な自分は積極的に学んでいきたいです。
- ・データサイエンスの基礎を身に付けたい
- ・AI やデータサイエンスの基礎知識を学ぶことで、現代社会の課題や動向をより深く理解できるようになることを期待しています。特に、膨大な情報の中から有用なデータを抽出し、分析・活用する力を身につけることで、今後の進路選択や社会貢献につなげていきたいと考えています。また、実践的なツールや技術にも触れながら、自分の興味関心と AI の可能性を結びつけるきっかけになればと願っています。
- ・高校の授業でプログラミングやった際に、とても難しい点もあったが楽しく授業を受けることが出来たので、またより深く知ることが出来るのが楽しみだ。また、複雑なデータを見える化することを自分自身で行えるようになれば、レポート課題なので少しでも役に立つと思うので、この授業でデータサイエンスについてもっと学びたいと思っている。
- ・データサイエンスや AI、IT などに興味関心がとてもあるので知識を深められる機会としてとても楽しみです。
- ・入学前に Excel の講座に取り組んだのですが、楽しむことができたので、AI ・データサイエンスにも意欲的に取り組めたらと思います。自分にとって未知の学問領域なので新しい知識を吸収できることを期待しています。なお、その技術が実社会の中でどう活かされているのかや、実際にどのように利用していけるのかを学びたいです。
- ・私は AI データサイエンスがこれからの未来に必要不可欠な物であると思っているため、この機会に習得をしたいと考えています。
- ・AI やデータサイエンスは最近よく耳にする言葉ですが、まだしっかりと理解できていないので、この授業を通して基本的な知識を身につけたいと思っています。また、この講義を通して 自分の興味や得意分野を広げるきっかけになればと思っています。
- ・AI ・データサイエンスの授業に期待すること 過去の統計や多くのデータを企業の戦略面・生産プロセス等のプログラミング化などで有効的に活かすには避けられない学問だと思っています。従来の人間の能力だけでは今や世界の情報量はさばききれないし、これらをまとめ活用していくのがこれからの世の中の課題だと思っています。ユーザーからの視点でも自分が必要としているもの、嗜好にあうものなど焦点が絞りやすくなっていくのでは… 分かりやすいご指導で知識が重ねられ理解が進むことを期待します。
- ・私は大学在学中に簿記試験を受けたいと考えているため、データサイエンスを受けることによってデータに関する解像度が上がるのではないかと期待しています。また、ネットでの計算に慣れていないので、慣れたいです。最終的には、計算によって出てきた数字がどのような影響をもたらすのか予想ができるようになりたいです。
- ・文系だけどデータサイエンスの基礎を身につけることで進路の可能性を広げていきたい。

- ・基礎知識の習得、実践的スキルの向上、問題解決能力の向上、データの可視化とコミュニケーション、倫理的視点の理解、そして最新技術の習得、これらの点を通じてデータサイエンス基礎をしっかりと学び、将来的により高度なデータ分析や ai 技術の応用に繋げていきたいです。
- ・データサイエンスに関する知識を学ぶことで、インターネットや AI が進歩した現代を生きるためのスキルを身に付け、活用していきたいです。
- ・今後の社会で確実に必要となるデータサイエンスをどれだけ自分のものにできるか、理系弱者でも理解できるか期待しています。
- ・AI（人工知能）やデータサイエンスについての基礎的な知識や留意事項、また現代社会における役割や利活用の方法を学び、生きるためのリテラシーを身につけることを受講する目標とし、今後の学業や実生活に生かせるようになることを期待しています。
- ・毎週の課題で継続的に学習が出来ると考えているので、今までほとんど触れてこなかった AI データサイエンスについての理解が深まれば良いと考えています。

★新たな知識（期待）

- ・新たな知識をつけること
- ・AI データサイエンスというジャンルの講義自体初めて受けるため、新たな知識が増やせる機会になると思いき楽しみです
- ・AI データサイエンスの基礎を学ぶことでより発展的な知識を持つきっかけになると思います。

★将来

- ・私は将来的に心理学等の研究をしていきたいと考えているため、パソコンの使い方や表計算などをマスターしたいと考えている。
- ・AI の授業を通して将来に役立てられるスキルを身に付けたい。そして AI をうまく活用していけたらいいなと思います。
- ・将来、Excel などを仕事で使いこなせるようになりたいのでたくさん学びたいと思う。
- ・データサイエンスに関する知識を身に付け、将来就職する際などに役立てばいいと思う。
- ・将来に役立つネットを使った技術を身に付けられたらと思う。また少し苦手意識のある表計算やプログラミングについても克服していきたい。
- ・機械にとっても弱いので、少しでも知識が付き、将来のキャリアに活かせるものが得られたらいいなと思います。
- ・データサイエンスの授業で学んだことを将来に生かせることを期待しています。
- ・近年データサイエンスの重要性をよく目にするので、本講義の受講によって、自信の将来性を広げていきたいと考えています。
- ・将来役立つ PC スキルや今後どのようなリテラシーが必要なのかを学びたい。
- ・将来何か仕事をするとき、必ずパソコンが必須だと思うため、それが学べたらなと思っている。この講義で学べたことを将来にたくさん活かしたい。
- ・1人で活用できるほどの操作技術がないので、この授業を通して将来社会にでたときに問題なく PC を利用できるようになりたい。
- ・講義では、専門的な内容もあると思いますが、初心者でも理解できるように、丁寧に教えていただけることを期待しています。パソコンの基本的な操作から少しずつ慣れていき、データを使って物事を考える楽しさを期待しています。

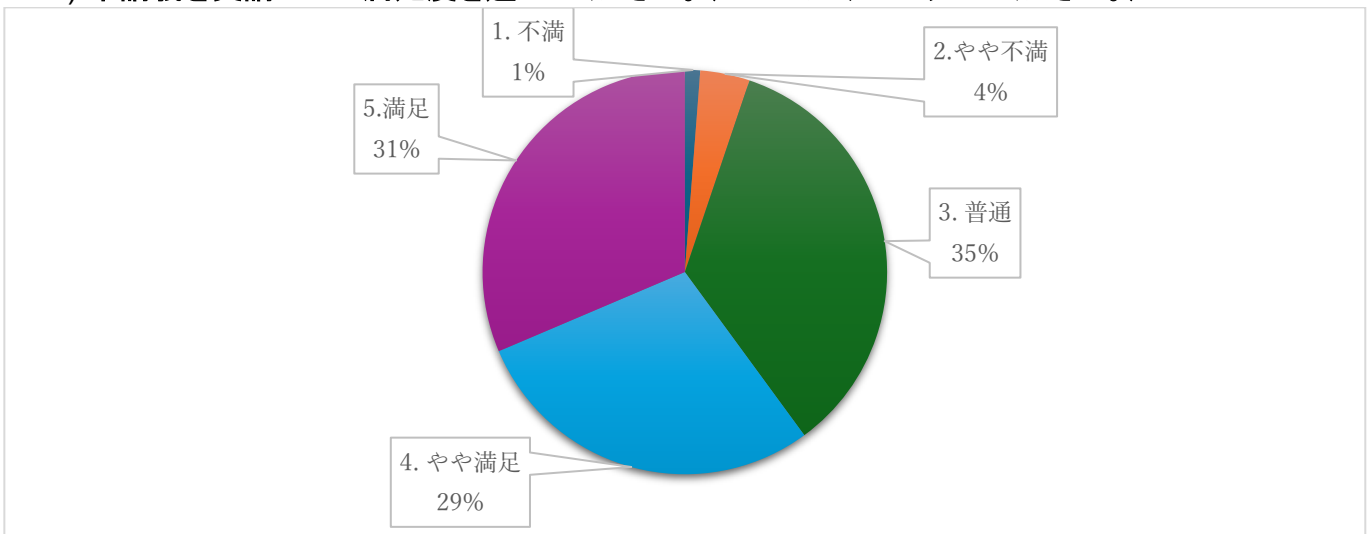
を知りたいです。私はデータサイエンスについて、まだよく分からないことが多いです。でも、今の社会ではデータを使って物事を考える力がとても大切だと聞き精一杯頑張りたいと思います。難しいと感じることもあるかもしれませんが、分からないなりに前向きに取り組んでいきたいと思っています。そして、将来は自分の興味のあることにデータサイエンスの知識を少しでも活かしたら嬉しいです。

- 私はこの授業を通じて、これからさまざまな分野で AI が活用されていく中で、正しく使いこなせる力を身につけたいです。実生活や将来の進路に役立つ学びができることを期待しています。
- 将来社会に役立つであろう事を学べる事です。近年チャット gpt を初め様々な AI が身近になっているので興味もあります。
- 将来に役立つことが学びたい。
- パソコンを使うことはやや苦手ですが、日々の学習や将来において有益な技術や情報などを学ぶことです。
- 将来、AI やデータを使うことは沢山あると思うので、その時の役に立てるのでは無いかと期待しています。
- 将来のために、プログラミングを習得したいと考えています。
- 楽しく将来に活かせる学習をしたい。
- 今の時代ほとんどの職種で使うデータ、パソコンの扱いであるので、将来の自分のために基礎知識から応用まで多くのことを吸収したいと考えています。パソコンには早いうちから慣れており、苦手意識もないため、新たなものを吸収したいと思うことはあったが、そういった機会は今まであまりなかったため、少し楽しみです。
- 将来にどのくらい影響するか期待している
- AI 技術やデータの利活用等の知識を学ぶことにより、将来に役立つ幅広い知識を学ぶことができる点を期待しています。
- 将来に活かせるようなスキルをしっかりと身につけたいです
- 将来生かせる講義だと思うので楽しみです。
- 将来社会に出てから活かせる知識をつけたい
- PC は、将来会社でも、個人でも役立てると考えているのでどんなことが学べるのか楽しみです。
- 基礎知識の習得、実践的スキルの向上、問題解決能力の向上、データの可視化とコミュニケーション、倫理的視点の理解、そして最新技術の習得、これらの点を通じてデータサイエンス基礎をしっかりと学び、将来的により高度なデータ分析や ai 技術の応用に繋げていきたいです。
- 講義を聞いた上で自分の将来にどのように活かしていけるのか考えていきたいと思っている。
- 将来パソコンなどを使用する機械に役立つように知識をつけたいと期待している
- 将来に活用出来るスキルを身につけられるもの。
- AI データサイエンスを学ぶことによって将来、役立つ事があると思うので楽しみです。また、仕事としてパソコンを扱う仕事が多いのでこの授業でパソコンを扱う機会があるのでとてもよい機会だと思います。
- データサイエンスと聞いて、私は PC についてや数学が少し苦手なので心配ですが、新たな科目で新鮮なので興味深い気持ちでいっぱいです。この講義を受け、データサイエンスの基礎を学び、情報社会の世の中を生き抜き、正しい知識を蓄えたく思います。この講義を通して将来にいかせたらなと思います。
- とても将来に役立ちそうなところ
- 将来に役立つネットを使った技術を身に付けられたらと思う。また少し苦手意識のある表計算やプログラミングについても克服していきたい。

【AI・データサイエンス基礎事後アンケート 2025】

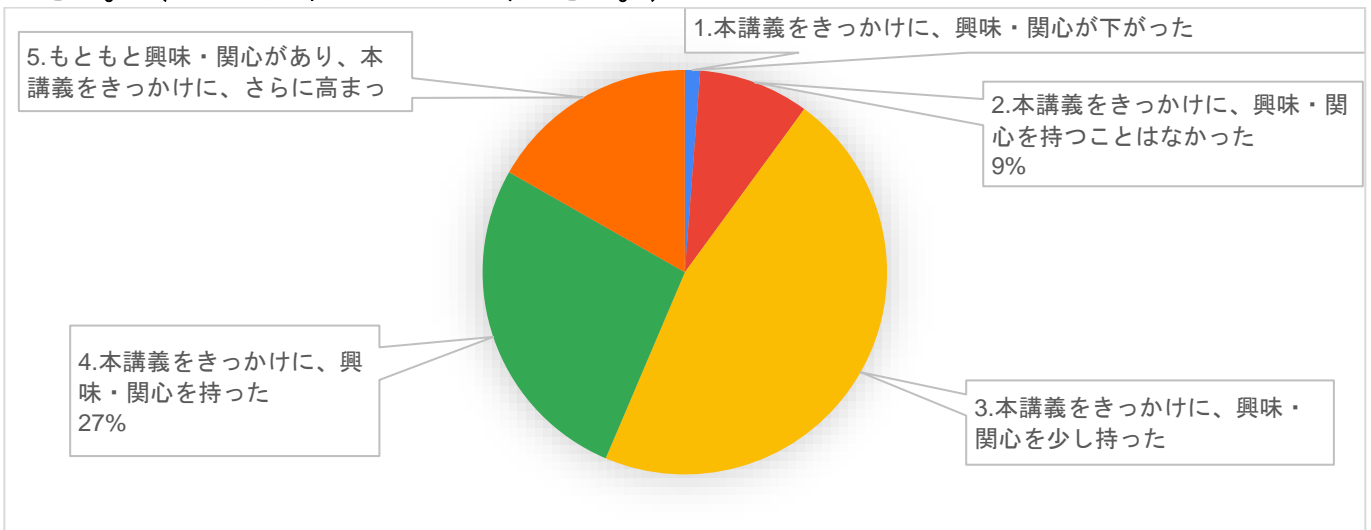
アンケート集計結果（回収 328 人）

1) 本講義を受講しての満足度を選んでください。（* 1つだけマークしてください。）



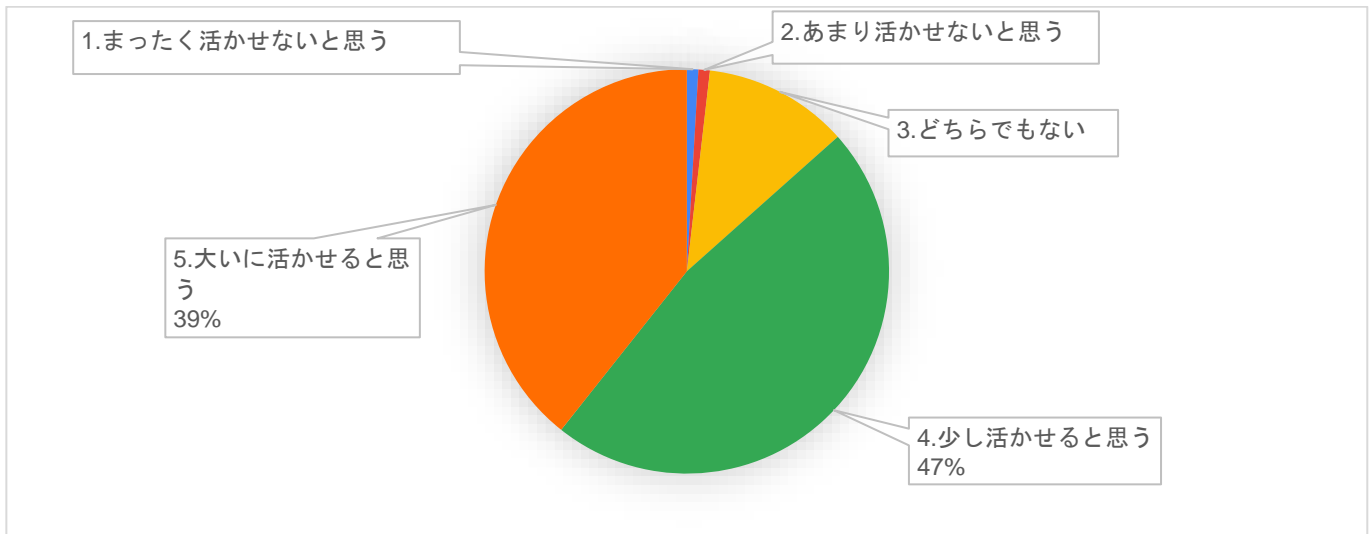
満足度	人数
1. 不満	4
2. やや不満	13
3. 普通	114
4. やや満足	94
5. 満足	103

2) 本講義を受講し、データサイエンスという学問領域に関して、あなたの考えに近いものを選んでください。（* 1つだけマークしてください。）



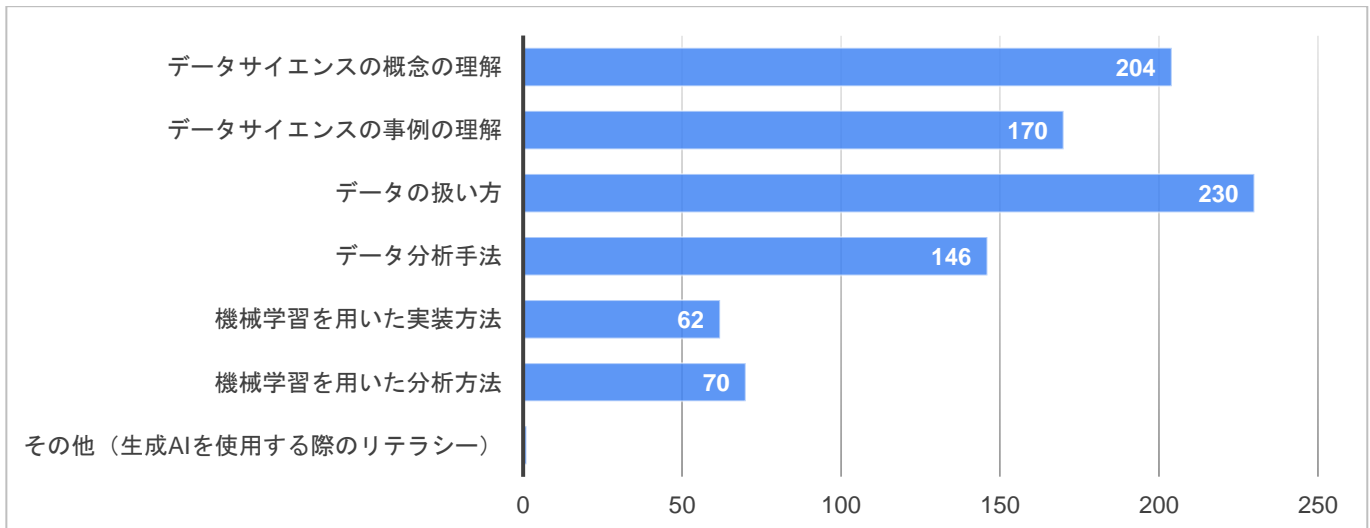
回答内容	人数
1. 本講義をきっかけに、興味・関心が下がった	4
2. 本講義をきっかけに、興味・関心を持つことはなかった	29
3. 本講義をきっかけに、興味・関心を少し持った	152
4. 本講義をきっかけに、興味・関心を持った	88
5. もともと興味・関心があり、本講義をきっかけに、さらに高まった	55

3)本講義で得られたデータサイエンスの知識が、あなたの今後に活かせるものだったかについて、あなたの考えを選んでください。（*1つだけマークしてください。）



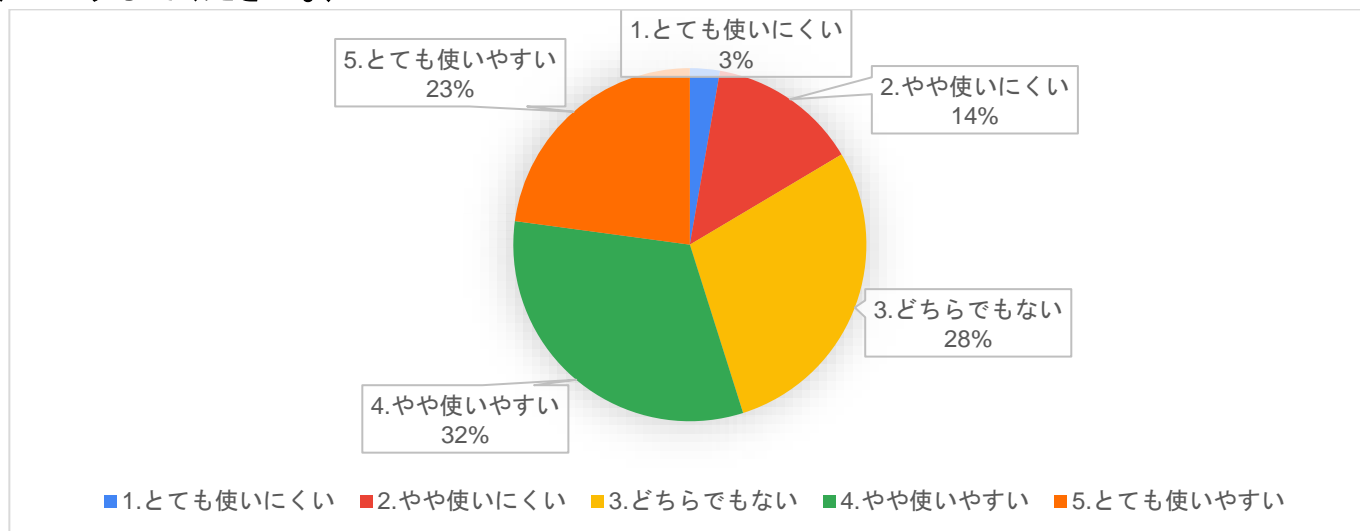
1. まったく活かせないと思う	3	
2. あまり活かせないと思う	3	
3. どちらでもない	38	
4. 少し活かせると思う	155	
5. 大いに活かせると思う	129	(人)

4)本講義を受講して、あなた自身が身に付いたと思うことについて、選んでください。（複数回答可）



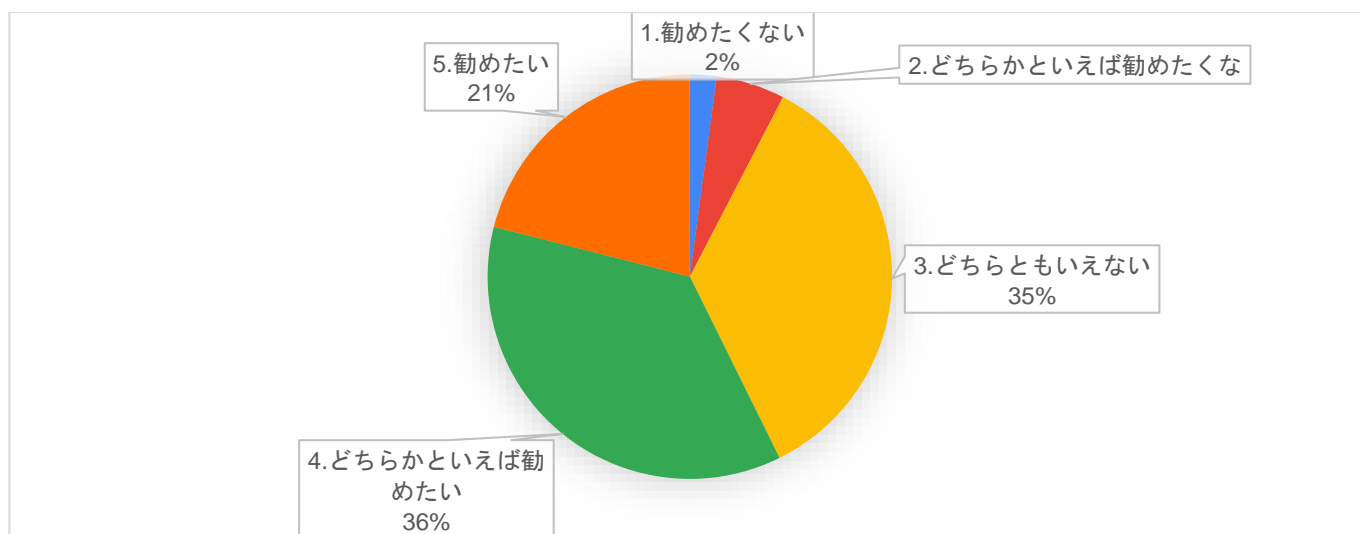
データサイエンスの概念の理解	204	
データサイエンスの事例の理解	170	
データの扱い方	230	
データ分析手法	146	
機械学習を用いた実装方法	62	
機械学習を用いた分析方法	70	
その他（生成AIを使用する際のリテラシー）	1	(人)

5)本講義を受講して、e ラーニングの操作面についての満足度を選んでください。(* 1つだけマークしてください。)



1. とても使いにくい	9	
2. やや使いにくい	45	
3. どちらでもない	94	
4. やや使いやすい	105	
5. とても使いやすい	75	(人)

6)後輩等、他の学生へも本講義の受講を勧めたいと思いますか。(* 1つだけマークしてください。)



1. 勧めたくない	7	
2. どちらかといえば勧めたくない	18	
3. どちらともいえない	115	
4. どちらかといえば勧めたい	119	
5. 勧めたい	69	(人)

7) 本講義で興味がある / 興味を持ったトピックを教えてください。(自由記述)

- ・生成 AI (概要・活用)
- ・データを扱う
- ・生成 AI の概要
- ・データ・AI の活用領域
- ・情報セキュリティ
- ・データ分析 (方法)
- ・データの活用
- ・社会で起きている変化
- ・データ・AI を扱う上での留意事項
- ・データ・AI の活動領域
- ・Excel の使い方
- ・AI 利活用の現場
- ・第 3 回社会で活用されているデータ
- ・データ・AI 利活用のための技術
- ・バイアスについて
- ・統計
- ・AI 利活用の最新動向
- ・データ認識技術
- ・サイバー攻撃
- ・ビッグデータ
- ・AI を使った犯罪手段、AI による商業効果、AI による業績確認の方法
- ・AI が東大の受験に挑んだ話
- ・グラフの種類
- ・データリテラシーの「データを説明する」のトピックに興味を持った。様々なグラフの種類や使い方、使わない方が良いものを知れておもしろかった。
最初の棒グラフはとても興味深かった。
- ・第 5 回 データ・AI 利活用のための技術の人間にとって難しいことがコンピューターには簡単であり、逆にコンピューターにとって難しいことが人間には簡単であるという事実。
- ・情報セキュリティなどは塾の事務関連のバイトをしている私にとって少し身近でした。
- ・ウイルス、サーバーハッキング
- ・第 13.14 回
- ・本講義の中で特に興味を持ったのは、「データ・AI に関連した新技術」についてのトピックです。AI 技術が急速に進化しており、画像認識や自然言語処理などが日常生活やビジネスの現場に取り入れられていることに驚きました。今後さらに私たちの暮らしに密接に関わる技術だと感じただけでなく、その仕組みや活用方法についてもっと深く学びたいと思いました。
- ・そこまで興味が持てなかった
- ・データ分析の講義で経営の場合だったらどのようにデータを収集し分析結果から改善点を導き出すのかなど知ることができてとても印象に残った。
- ・人間に近づく AI

- ・人工知能
- ・データと因果関係の違いや、認知バイアスの話にとっても興味を持ちました。特に「相関関係があるからといって因果関係があるとは限らない」という考え方は、普段のニュースの見方や情報の受け取り方にも役立つと感じまし
- ・本講義を通して、データや AI を活用した新しいビジネスに特に興味を持ちました。金融業界における AI の活用や、犯罪の予測、スポーツ業界での活用など、さまざまな分野での AI の事例を学ぶことができ、とても興味深く感じました。また、これからの時代においては AI やデータの活用は不可欠であり、今後もそれらを活用した新しいビジネスがますます増えていくだろうと思いました。
- ・AI の進化に興味を持った。IoT に興味を持った。
- ・データ認識技術、AI の難問、アルゴリズムバイアスについて
- ・情報セキュリティが現代では必要不可欠なので最も興味深い授業でした

8)本講義で理解が難しかった回(又は講義テーマ)を教えてください。(自由記述)

＊データ関連の理解

- ・データを読む (第 9 回・第 10 回など)
- ・データを扱う (第 12 回など)
- ・データを説明する (第 11 回など)
- ・データの分析・統計 (相関係数、因果関係、回帰分析など)
- ・データの代表値・尺度・読み取り
- ・データの信頼性・偏りの見極め

＊Excel 操作・実践課題

- ・Excel の使い方・関数・グラフ作成
- ・Excel を使った演習・自由課題・
- ・Excel を使ったデータ整理・分析
- ・実技・演習問題全般

＊ AI ・機械学習関連

- ・AI の仕組み・ニューラルネットワーク
- ・機械学習の実装方法
- ・AI 利活用の技術 (第 5 回・第 6 回など)
- ・AI と社会の関係 (雇用、ビジネスなど)

＊セキュリティ・情報技術

- ・暗号化技術・公開鍵・共通鍵
- ・サイバー攻撃への対応
- ・データの安全性・ねつ造

＊ その他

- ・専門用語の多さ
- ・数学的な背景
- ・実践的な操作に慣れていない
- ・課題の目的や意義の理解が難しい

9)本講義を受講しての感想を教えてください。(自由記述) *いくつか抜粋

*AI・データサイエンスの基礎理解について

- ・これからもっと進化するであろうデータやAIについての知識を深める機会になったのでよかったです。
- ・AI データサイエンスの講義を通して、データサイエンスの基本や、今の社会でAI がどのように使われているかを知ることができました。AI が医療やビジネス、交通など、身近な分野でも使われていると分かり、とても興味を持ちました。また、AI が関わる社会問題や倫理の問題についても考えることができ、ただ技術を学ぶだけではなく、その影響や課題について理解を深められたと思います。こうした内容は他の講義や学部ではなかなか学べないことであり、とても新鮮で良い経験になりました。AI やデータサイエンスの大切さを知り、もっと勉強していきたいと思える講義でした。
- ・これまでAI やデータサイエンスという言葉は知っていたが、漠然としたイメージしか持っていなかった。授業を通じてその基礎的な仕組みや活用事例、社会的な影響まで、幅広く知ることができ良かった。また、AI が社会に与える影響についても考える機会があり、単に技術を学ぶだけでなく、倫理的な視点や人間との関係性についても考える重要性を感じることができた。
- ・データの正しい活用方法や、利点、使用する際の注意点、AI がどこでどのように使われ、活躍しているのかなどについて、わかりやすい資料と授業によって学ぶことができた。はじめは「AI・データサイエンス」という言葉を聞き、難しく自分にはあまり関係ない分野なのではないか、というイメージを持っていた。しかし、授業を通して、実は自分の身近な場面、例えばSNS やネットショッピングなどで、AI やデータ分析が多く活用されていることを知り、驚いた。他にも、医療やビジネスなど幅広い分野で活用されていて、AI はこれからの社会に欠かせない存在になっていくと感じた。
- ・この講義では、身近な仕組みにも多くのAI が使われていると知れる講義でした。特に、データの分析から予測を立てるプロセスが面白く、実社会とのつながりを実感できて面白かったです。
- ・情報セキュリティやAI の活用について学ぶことで、身近なところで使われている技術の大切さを実感できた。普段何気なく使っているものにもリスクや仕組みがあると知り、とても勉強になったし、今後に役立てていきたいと思った。
- ・この講義で、データやAI の活用が今後の社会やビジネスに与える影響の大きさを改めて実感した。犯罪の予測や売却物件の予測、農作業やスポーツにおける最適な判断など、あらゆる場面でAI が活躍していることに驚いた。特に、個人の信用を評価するような仕組みがあることで、これまで評価が難しかった人もビジネスチャンスを得られるようになるのは、社会全体の公平性にもつながると感じた。また、新しい技術によってキャラクターなどの新しいものが生み出せる点も、創造性と技術の融合としてとても興味深かった。小規模な企業でもデジタル技術を使えば世界を視野に入れて事業ができることを知り、自分にも可能性があると感じた。AI の進化を正しく理解し、上手に活用することがこれからの時代を生きる上で大切だと思った。
- ・今までAI データ、というものに関心もなく、身近でありながらその存在に関心を持つこともなかったのですが、この講義を通して、今現代のAI データの在り方や、どのように世の中に関わっているのか、どのように日常生活に関りをもっているのかが分かりました。今までは気に留めることのなかったことも、これからは立ち止まって、これはどういうことを分析しているのだろうか、とか、何のデータを集めているのだろうか、など、視点が確実に変わりました。そしてこれからも自分なりにいろいろな角度から物事を見るようになれたらいいなと思います。大変有意義な講座をありがとうございました。
- ・データは私たちの身近にあって、活用の仕方次第で味方にもなれば敵にもなりうるものであることが分かりました。実際にExcel を使って演習をしながら学ぶこともできて分かりやすかったです。
- ・データサイエンスは、膨大なデ統計学やプログラミング、機械学習などの知識を組み合わせ、現実の課題を分析・

解決できる点に大きな魅力を感じました。実際にデータを扱う中で、仮説を立てて検証するプロセスや、可視化によって結果を直感的に伝える技術の重要性を学びました。難しさもありますが、知識が実際の意思決定に活かされる瞬間はとてもやりがいを感じます。今後もスキルを磨き続けたいと思います。

- ・ AI、データサイエンスはいま世界中のどの企業でも関わっているものなので、今後社会に出た時の学びになりました。最初はサイエンスや、AI など難しそうな理系のテーマかと思い、身構えていましたが身近なものだと感じました。
- ・ 今までデータサイエンスのことについて関心を持っていなかったのですが、本講義を通してデータサイエンスに少し興味を持たし、将来どのようなときに活かせるかを自分自身で考えることができとてもいい講義だった。
- ・ 毎週、この授業を楽しみしていました。自分が生きているデータや情報について知ることが出来る授業でしたので、特にデータを入力するのはとても勉強になりました。小学校や中学でもやりましたが大学でもう一度学ぶことが出来て良い体験でした。ありがとうございました。
- ・ 自分が想像してたよりも、提供されているサービス内で AI やビッグデータが使用されていることを把握できたことが、この授業で得た一番の収穫だと思う。急速に発展する世界に取り残されないためにも、このような機会で活用法の具体例などを知ることができてよかった。
- ・ 本講義を通じて、データサイエンスとは単に技術的な知識だけでなく、社会との関係や倫理的な視点も重要であることを実感しました。現実の課題に対してデータをどう活かしていくかという姿勢を少し養うことができました。データサイエンスというところか難しいように感じ、今までなかなか触れてこなかったからこそ、データ、技術、社会を包括的に学べる貴重な機会だったと感じています。今回培った新たな視点を教師を目指す上でより養っていきたいと思いました。
- ・ 自分ではなかなか学ぶことのない AI について深く学ぶ貴重な機会だったと感じています。高校時代には習わなかったパソコンの領域まで学ぶことができてよかったです。今の時代仕事にとっても私生活にとっても大きな一面となっている AI 技術ですが、使い方を間違えると大切な情報を奪われてしまったり、犯罪に巻き込まれてしまったりとリスクを抱えていることを実感しました。また私たちは AI を通して送信される多くの情報に翻弄される可能性を持つことも分かりました。正しく AI 技術を使うためにも、自分の意志を持ち、適切に慎重に使ったり、決断したりしたいです。また企業や団体が AI 技術を使って、経営をより効率的に行っていることもわかりました。多くの人が使っているからこそ、情報を集めるために活用すれば大きな戦力になるなと感じました。私も研究をしたり、働くことになったりしたとき、正しいやり方で効果的に情報を扱えるようになりたいと思いました。
- ・ データを「集めて終わり」ではなく、「どう分析し、どう伝えるか」が重要だということを実感しました。特に、グラフや統計を使って物事の傾向や関係性を読み解く力は、日常生活や将来の仕事にも活かせると感じました。また、自分の思い込みではなく、客観的な根拠に基づいて考える姿勢が身についたことも大きな収穫です。難しい部分もありましたが、実践的な内容が多く、楽しみながら学ぶことができました。
- ・ 初めは自分が知らない分野で情報系も得意な方ではなかったため不安だったが講義を重ねる度に今まで知らなかった様々な科学技術や現代の社会で使われている最先端の技術など幅広く知ることができ、とても良い学びとなった。
- ・ 受講して、データの重要性や AI 技術の活用方法がよく理解できました
- ・ AI「データサイエンス」の講義を通して、データやそれに関わる用語の意味を知ることができたのがまず嬉しかったです。データはとても便利で、社会のさまざまな場面で活用されていますが、使い方を間違えれば大きな問題につながることもあると実感しました。個人情報も大切なデータであることを忘れず、正しく扱う意識が必要だと思いました。また、気づかないうちに私たちの身近なところで AI やデータが当たり前のように使われていることにも驚きました。社会に深く浸透しているからこそ、より正確な知識とリテラシーが求められると感じました。

*技術の習得

- ・エクセルの使い方を知らなかったので学べてよかったです。
- ・自分はエクセルやグラフを使いことに苦手意識があるので、少しは克服できたかなと思った。また AI やデータを扱う上で注意しなければならないことをよく学ぶことができ良かった。
- ・エクセルを使っの講義はとても難しかったけれど、とても勉強になりました。
- ・Excel での授業が難しかったけれど、説明を聞きながら操作ができて分かりやすかったです。知らない言葉の説明もくわしくされていたのでよかったです。
- ・近年、データサイエンスという科目が重要視されている中、こうした機会を通して少しでも情報を身につけることができよかったですと思います。また、私はパソコンの使い方もままならない程、機械系に疎いところがあるため、グラフの読み取り作り方を学ぶことができとても嬉しかったです。
- ・自分たちの世代はこういったデータやコンピューターを使いこなすことが求められるのでこういった講義はありがたいと感じた。
- ・私が特に印象に残っているものは、グラフによって印象が変わるというものでした。見た目には左右されず、しっかりと数値を見なければいけないということが分かりました。
- ・あまり触れないけれど今後必要になるであろう Excel や、現在広まっているインターネットに関する情報を知ることが出来ました。必要不可欠なものだと思うので、学校の授業を通して学べてよかったです。
- ・高校で学習した"情報"と似ていた内容で、少し苦手分野で避けていきたいものであったが、提出ありの講義であったため理解する事を意識して取り組めて、データのとり方や活用の仕方についての注意点などを学ぶことができ、今後のレポートや参考に活かしていきたいと思うことができた。
- ・AI やデータサイエンスという言葉には難しそうなイメージがありましたが、実際に Excel を使ってデータを扱ってみることで、意外と身近で実践的な内容だと感じました。数字の裏にある傾向を読み取ったり、グラフで可視化する過程はとても新鮮で、データを「見る力」が少しずつついてきたように思います。手を動かしながら学べたことで、知識としてだけでなく感覚的にも理解が深まりました。今回の学びを、今後の大学生活や日常の中でも少しずつ活かしていけたらと思います。
- ・この授業ではデータの概念や扱い方、注意事項などの物事だけでなく、Excel などのシステムを使った実践的なこともできてとても良かったです。将来的に自分たちが行わなければいけないデータの統計などもあったのでありがたかったです。
- ・高校までの情報の授業などでは習わなかった実践的な内容について学ぶことができとても面白かったです。

*AI との関係性について

- ・AI の技術がデータをまとめた上でも、人間がその結果から考えたことをまとめる力が最終的には必要なのが分かった。どの技術の分野においても AI に頼りすぎることは人間の能力を劣らせてしまうことだと考えた。人間にはこれから深く思考したりする力が大切だと分かった。
- ・私は、今回 AI データサイエンスの e ラーニングを学んで自分の中で AI と共に生活していく中で非常に重要な学問であると考えました。自分の中では難しく少し理解するのが大変なでしたが、自分なり勉強し、データの扱い方などを日常にも使えると思いました。これから今よりもっと AI は使う機会が増え、自分の中で考える力というのをやめずに、
- ・AI データサイエンスの授業を通して、AI の仕組みやデータの活用方法について基礎から学ぶことができ、とても有意義でした。特に、実際のデータを使った分析やモデル作成の演習は、理論と実践をつなぐ良い経験になりました。AI が社会に与える影響や倫理的な課題についても考える機会があり、技術だけでなく広い視野で物事を見る大切さ

を実感しました。今後の学びや進路にも役立つ内容だったと思います（ます）

*今後への活かし方

- ・講義を受講して、今まで当たり前のように使ってきたデータにも、危険性があったり、十分に注意してデータを扱わなければいけないということを学ぶことができ、講義を通して学んだ知識をこれから活かしたいと思います。
- ・データがただの数字ではなく、社会の課題を見つけたり、解決のヒントを与えてくれたりするものだということを知ることが出来ました。また、演習や事例を通して、身近なところでもデータが活用されていることが分かり、学ぶ意欲が高まりました。今後もデータサイエンスで学んだことを活かして、物事を考える力を伸ばしていきたいです。
- ・将来もしかしたら役に立つ知識を得ることが出来て良かった
- ・普段学べないようなAIについて詳しく学ぶことができたのでとても勉強になりました。社会に出てからも活用できる内容が多く、受講してよかったと感じています。
- ・講義を通して、データやAIがどのように社会やビジネスの中で活用されているのかを知ることができ、とても興味深かったです。特に新技術や相関と因果の話では、身近な例と結びつけながら考えることができ、日常生活でも情報をより正確に読み取ろうとする意識が高まりました。一方で、統計やデータの扱いにはまだ難しさも感じたので、今後も学びを深めていきたいと思います。
- ・この講義を通して、情報社会を生きるうえでの基礎知識だけでなく、個人情報取り扱いやAI活用のリスクなど、現代に必要な視点をたくさん学ぶことができました。特に、情報セキュリティや倫理的な課題に目を向ける重要性を感じ、日常生活でも意識していきたいと思います。
- ・データサイエンスを学んで社会課題の解決力を身につけていきたいです。
- ・授業を通してこれからどのようにAIと向き合っていけば良いのかわかりました。私たちの時代はこれからもっとAIの技術が進むと思いますがすべて正しい情報だと思わずに情報を得たいと思いました。将来AIをうまく活用し自分の生活に役立てていきたいです。

*学習全般について

- ・毎回最後に学んだことを記述するおかげで学びを深めることができました。高校のころ情報で学んだ内容をさらに深く学ぶことができました。
- ・前期でたくさんのAIデータサイエンスの動画を見たら実践練習をしてみて、私の苦手分野だったのですがこの機会ですら少し理解してこの動画を見る前よりできるようになってとても嬉しかったです。今後活かしていきたいです。
- ・データの使い方から、AIといった昨今話題になっているデータの新しい形まで幅広く学ぶことができた。内容には満足しているが、データサイエンスの動画視聴についてわだかまりが残る。というのも、より身近に隙間時間でも取り組めるようなサービス(一問一答のようなクイズなど)のサービスがあればより理解を深められたのではないかとと思う。データサイエンスを授業として学ぶのは終わってしまうが、自分でもぜひ積極的に学んでいきたい。
- ・最初はデータサイエンスは名前からして難しそうだという印象を持ちましたが、知らない情報が多く理解は難しかったもののためになりました。ただオンライン形式で少しやりづらかったです。質問できるシステムがあれば一方的に情報を受け取るだけでなくもっと学びを深めることができたのではないかと思います。
- ・今まで中学・高校時代にパソコンを扱う授業を受けていたが、なかなか難しい所があり大学生期間に自分が苦手だと感じた事を改めて知る事が出来た。また、大学生期間に苦手だと感じた所は、早めに対策を取れるようにしたいと思いました。

- ・まったく知識のないところからのスタートでしたが、Excel の使い方など大学での研究や就職後にも活かせる技術を少し身に着けることができたと感じています。
- ・自分から率先して学ぶ分野ではなかったのに、必修科目で学ぶことができてよかった。社会に出てからどんな仕事に就くか今はまだ分からないが、今回の講義で学んだことは活かせると思った。
- ・普段興味のないことを知れておもしろかった。
- ・日頃では学ばないような分野について学ぶことを学ぶことができた
- ・近年、よく聞く AI について、実際にどのようなところで活用されているのか、うまく活用するにはどうすれば良いのか、利用するときの注意点は何かを知ることができた。意識していないだけで、身の回りではたくさんの AI 技術が使われていることを知った。情報を取り扱う上で情報漏洩などの危険が伴う場合があることも知ることができた。自分では学ぼうとしない分野について、必修で学ぶことができ、視野が広がった。
- ・日頃あまり目を向けられない分野についても知るきっかけができてよかったなと思いました。
- ・今まで AI についてよく分からなかったが講義を受けたことによって興味関心ももてた
- ・極文系人間の自分には訳が分からない上に体調が悪くなるくらい数学的な回があって苦痛だった。単位いらないのもうやりたくない。
- ・AI データサイエンスを受講して、今後会社に就職した時などに必要となってくる IT の知識をたくさん学ぶことができ。この授業で学んできたことを今後活かせるよう、復習をしてしっかりと覚えておきたいと思う、
- ・AI・データサイエンスの授業を通して、これまであまり学ぶことのなかった分野にふれることができ、とても良い学びの機会になりました。14 回の授業で、日常生活に関係するテーマから、専門的な内容まで、幅広く学ぶことができました。初めは、AI やデータサイエンスと聞いてもイメージがわからず、難しそうという印象がありましたが、回を重ねるごとに少しずつ理解が深まりました。これからの社会で AI とどう向き合っていくかを考える上でも、とても大切な視点を学べたと思います。この授業で得た知識を、今後の大学生生活にも活かしていきたいです。
- ・私は将来企業をし、自分の店を持ちたいと思っている為、データの取り扱い方や、プライバシーの保護など、データを使用する上で大切になる基礎知識をデータサイエンスを受講して学ぶことができてよかったです。
- ・高校の情報の授業でも学んだが、知識はまだしもプログラミングや数字に弱いことがわかった

2025年度_リテラシーレベル_自己点検評価_AIデータサイエンス基礎

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>「AI・データサイエンス基礎」（半期2単位、オンデマンド形式のオンライン授業）は、2023（令和5）年度から全学必修科目となっており、全ての1年次生が前期（4~7月）に「AI・データサイエンス基礎 A」を履修し、不合格者は後期（9~1月）に同一内容の「AI・データサイエンス基礎 B」を再履修しなければならない（A, B ともに不合格の場合は翌年度に再々履修となる）。必修科目として3年目となる2025（令和7）年度は、前期に617名（前年度からの再履修者を含む）が履修して525名が単位を修得し（92名が不合格）、後期に81名（前期不合格者のうち11名は休学・退学等により再履修せず）が再履修して55名が単位を修得した（26名が再度の不合格）。最終不合格者数は昨年度の21名に対して本年度は26名と微増したが、総履修者数も増加している（昨年度前期545名→今年度前期617名）ことから、昨年度とほぼ同水準の修得状況（未修得率5%未満）であったと言える。</p>
学修成果	<p>学期末に履修者にアンケートを行い、前期「AI・データサイエンス基礎 A」では 328件（昨年度317件）、後期「AI・データサイエンス基礎 B」では 34件（昨年度16件）の有効回答が得られた。集計の結果、「本講義を受講しての満足度」（1「不満」~5「満足」の5段階評価）の平均値は、前期が 3.85（昨年度 4.08）、後期が 3.82（同 4.50）であり、「本講義で得られたデータサイエンスの知識が、あなたの今後に活かせるものだったか」（1「まったく活かせないと思う」~5「大いに活かせると思う」の5段階評価）の平均値は、前期が 4.23（昨年度 4.35）、後期が 4.15（同 4.63）であった。昨年度に比べて各評定値がやや低下している点が懸念材料であるが、概して履修者が当授業を通じて今後に活かすことのできる知識を学び、一定の満足感を得ているものと考えられる。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>前期の学期末アンケートにおいて「本講義を受講して、あなた自身が身に付いたと思うことについて、選んでください」という質問（複数選択式回答）に対して、「データの扱い方」の選択率が 70.1%（230件）、「データサイエンスの概念の理解」の選択率が 62.2%（204件）、「データサイエンスの事例の理解」の選択率が 51.8%（170件）と半数を超えた一方で、「データ分析手法」の選択率は 44.5%（146件）にとどまっていた。さらに、「本講義で理解が難しかった回（又は講義テーマ）」に対する回答（自由記述）では、昨年度と同様に260名ほど（約80%）が Excel を用いたデータ分析を含む授業を挙げていた。概念的な知識については多くの学生が理解を深めた反面、方法的・実践的な知識については深い理解を得ることが難しかった様子が窺われる。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>前期の学期末アンケートにおいて、「後輩等、他の学生へも本講義の受講を勧めたいと思いますか」（1「勧めたくない」~5「勧めたい」の5段階評価）に対する回答は、評定平均値が 3.69（昨年度 3.96）、「4」以上が57.3%（昨年度 71.9%）であった。授業内容や運営方式は昨年度とほぼ同様であったが、推奨度が低下している点が懸念材料である。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>当科目は令和5（2023）年度より1年次生を対象として全学必修化されており、全ての1年次在学学生ならびに2年次編入学生が履修している（履修率 100%）。前期に単位を修得できなかった学生には後期に必ず再履修させる運用となっており（休学・退学者を除く）、該当する学生の履修登録も大学側で行っている。</p>

2025年度_リテラシーレベル_自己点検評価_AIデータサイエンス基礎

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> <p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>当該授業は令和4(2022)年度より、1年次生対象の準必修科目として新規に開講されたため、当該授業を履修、単位を修得して卒業した学生は2名だった。令和5(2023)年度より1年次生の年次指定科目として必修化している。そのため、令和8(2026)年度に最初の卒業生が生じることとなることとなるので、当該科目を履修した学生の進路・就職状況等に変化(特徴)が見られる可能性がある。本学キャリアセンターと連携しつつ当プログラム修了者の進路等に注視し、自己点検・評価に生かしていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスとは、数理学に基づきデータ分析の手法や応用技術を活用して、ビジネスや社会における課題の本質的な解決を目的とする取り組みである。データサイエンスの実務では、統計解析や機械学習手法の基礎を体系的に理解し、CRISP-DM(Cross-Industry Standard Process for Data Mining、データサイエンスのプロセス)に則して実行する人材が必要であり、その育成は産業界における喫緊の課題になっている。こうした背景をもって、文科省は大学に対して、課題解決ができる実践的な人材の育成のための教育プログラムやPBL(問題解決型学習)をカリキュラムに組み込むことを求めていると考えられる。 ・リテラシーレベルのプログラムについては、学生の意欲向上と教育機能の両面で成果を確認できる。 ・受講後にデータサイエンスへの興味を持ち、前向きに活用したいと回答した学生が約9割に達しており、貴学の学生に適した基礎教育が機能していると言える。 ・学生アンケートの回答率が履修者の6割程度に留まっており、未回答者の状況を把握しているか。また、前年度と比較し、満足度や推奨度において「普通」「どちらでもない」という中立回答が増加傾向にあり、特に、学生がeラーニングの操作面における課題を抱えている可能性がある。 ・学生アンケートで、「後輩にも勧めたいか」の質問に対して「中立」回答をした学生の状況をさらに掘り下げることで、彼らをポジティブな回答へ転じさせるための改善につながるのではないかと。
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>授業用教材では年度が替わるごとにAI・データサイエンスに関する社会的なトピックスが追加されており、受講生は最新の動向に触れながら学べる内容となっている。また、本学独自のコンテンツとして、実社会のデータを実践的に分析し考察させる課題(任意提出)も追加しており(昨年度後期より)、今年度の前期には少数ながらたいへん意欲的に取り組み、優れた成果物を提出する学生も現れている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>AI・データサイエンスを専門とする専任教員が不在の下、必修科目として全学生に均質な授業を提供するために、現在は当該領域の外部の専門家によって企画・作成され、オンライン教育業者が提供する視聴覚コンテンツに依存する形で授業を運営している。したがって、一定の「分かりやすさ」は担保されていると考えられるが、今後もアンケート等を通じて学生の取り組みや反応を把握し、学内の運営体制を点検し、可能な改善・充実に努める。</p>